

会 議 報 告 書

会 議 名	令和3年度 第3回 稲沢市社会教育委員会・公民館運営審議会
開催日時	令和4年3月1日（火）午後2時～午後3時40分
開催場所	稲沢市勤労福祉会館 3階 第2・3会議室
主 催	生涯学習課
議 題	協議事項 1 令和3年度主要事業中間報告について 2 令和4年度社会教育目標について 3 その他
資 料	別添のとおり
出席者	【委員】 山内晴雄、吉川光彦、大野芳樹、定行加保里、大室有美、服部みどり、 栗林芳彦、伊藤善男、加島和典、牛嶋みゆき、風間哲郎、岩堀直子 ※欠席…渡辺香織、河村禎之 【事務局】 （教育長）広沢憲治 （教育部長）荻須正偉 （生涯学習課）課長 佐藤雅之、主幹 江頭弘幸 社会教育指導員 大津隆、主査 曾根洋一 （スポーツ課）課長 内藤邦将 （図書館）館長 塚本ゆかり （美術館）館長 尾崎登紀子
備 考	傍聴者なし

【会議概要】

※渡辺香織委員、河村禎之委員2名の欠席について報告

◎ あいさつ

（教育長）

- ・昨年12月24日に就任し2か月となります、これから様々なことでお世話になります
がよろしく願いいたします。
- ・1年程前に退職した公務員の方々とお話をする機会があり、今後、社会貢献となる活動
に参加したい、若い時に挫折したことをもう一度勉強したいとの発言が聞かれました。
人生100年という言葉を目にしますが、定年退職後の人生をどのように過ごしていく
のかということが大切な問題となってきております。
- ・多くの方々が満足する、また自己実現ができるよう事業を進めていくことが、稲沢市の
活性化に繋がるのではないかと考え、様々な分野で御活躍の委員の皆様のご体験・知識の
中から稲沢市の社会教育の一層の充実に活かせるような御意見をいただきたいと思
います。

（委員長）

- ・いくつかの行事がコロナ禍で中止となり、各現場は大変御苦労なされたと思います。
中間報告も例年とは違った内容になっていると思いますが、各担当課からの説明の際
には苦労した点等についてお聞かせいただければと思います。

- ・愛知県の生涯学習審議会において、超高齢化・超少子化の中で地域と学校が協力しているという事業が全面に出てきました。しかし方策としては、コーディネーターを養成して派遣するというものでした。それよりも市町に工夫をお願いし、現場に任せそれを助けるような方策を出すべきではないかとの考えを述べてきました。
- ・1月31日に予定しておりました視察研修会が中止となりましたが、新年度に検討できればと考えております。

◎協議事項

1 令和3年度主要事業中間報告について

資料1・2について各課より説明

(生涯学習課)

- ・コロナ禍で中止した事業もありますが、日程を延期する等、できる限り開催に向けて努力しました。
- ・文化振興奨励補助金について、申請数が減少する中、コロナ禍で中止となった事業の経費についても補助できるよう要綱改正をしました。
- ・年度計画にはありませんでしたが、今年度オープンした祖父江生涯学習センター「ソブエル」において、開館記念として特別展を開催し多くの来場者がありました。
- ・人材バンクについては、内部で調査・研究の指摘があり、今年度中に進めるには困難な状況にありました。
- ・尾張国分寺跡の第2次指定地域において、地権者に対し説明会を開催しました。

(スポーツ課)

- ・感染防止対策を徹底し、各種大会の開催に向け努力してきましたが、多くの大会が中止となってしまいました。
- ・市内中学校巡回指導において、バスケットボールが中止となりました。
- ・バレーボールの巡回指導が有料化され、負担軽減のため来年度予算要求をいたしました。

(図書館)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8・9月に開館時間の短縮と臨時休館を行いました。また一部利用制限を継続しています。
- ・イベントについては、感染対策を講じ参加人数を減らす等、内容を変更し開催しました。
- ・今後は、推進計画の進行管理におけるアンケート調査の結果を分析し、目標値の達成に向けて各種施策の軌道修正に取り組んでいく予定です。

(美術館)

- ・8月末から9月中旬にかけ臨時休館をしましたが、特別展・市民展等は無事開催することができました。
- ・主要事業として、「生誕120年記念 荻須高德展 -私のパリ、パリの私-」を開催し、歴代第3位の観覧者数を記録しました。
- ・課題として展覧会等の情報発信について工夫していくことが必要であると考えています。

※質疑応答

(A委員)

- ・家庭教育において子育てセミナーで外へ出ることは気晴らしになります。コロナ禍で開催が困難であれば、例えばオンラインで開催する考えはないのでしょうか。

(生涯学習課長)

- ・感染リスクを考えると公が実施する場合、各家庭にご迷惑をかけることも想定し判断する責任があります。今後は、教育委員会だけではなく市全体で進めてまいります。

(B委員)

- ・0歳児で家にこもっているお母さんは大変な状況にあり、外と繋がる機会が必要です。子育て支援にオンラインが活用できないものかと考えています。他市のモデルを参考に進めていただきたいと思います。

(C委員)

- ・スポーツ課の事業ですが、バレーボール巡回指導が有料化された理由は何でしょうか。また、令和3年度の予算が予定しているとなっているのは適切でしょうか。

(スポーツ課長)

- ・有料化については、法人格のTGスポーツからの要望です。また、令和3年度予算につきましては、既に計上しており訂正させていただきます。

(副委員長)

- ・昨年度も話をしましたが、ハンドボールの大会だけが開催されていないので、是非、開催できるようなシステムを取ってほしいと思います。また、予算の48万円はどのように使われているのでしょうか。あと人材バンクについては、今後継続していくのでしょうか。

(スポーツ課長)

- ・ハンドボール協会の方には話をさせていただいており、引き続き開催に向けて働きかけを行っていきます。予算の48万円については、主にトークショーや体験会の会場使用料に充てております。

(生涯学習課主幹)

- ・内部の協議で講師と利用者とのマッチングや金銭面において、トラブルが発生するのではないかとの意見がありましたので、他市のケースをよく調査・研究して、今後も制度の実施に向けて進めていきたいと考えております。

(D委員)

- ・美術館の事業について、来館者増のために幅広く発信したとありますが、具体的にどのような手法を取ったのでしょうか。また、観る際に説明が欲しいのですが、イヤホンガイドについて検討はされないのでしょうか。あと市民展の出品について、どのような取り組みをされているのでしょうか。

(美術館長)

- ・発信の方法としては、中日新聞への掲載やNHKの朝のニュースで取り上げていただき、インターネットや情報誌にも掲載しました。
- ・イヤホンガイドについては、昔のように機器を使用するのではなく、アプリやネット上にアップする方法を検討しています。
- ・市民展への出品の声かけについては、会議室の利用者や大学にお話をさせていただいております。

(E委員)

- ・トップアスリートの巡回指導で声かけがしやすく感謝しています。来年度もお願いいたします。また来年度、是非シティマラソンを開催していただきたいと思います。
- ・図書館の配本サービスで、調べ学習の時に大変助かっております。
- ・荻須画伯は千代田地区の出身なので、地元の子どもたちには知っておいてもらいたいと思います。

※拍手多数により、中間報告について承認

2 令和4年度社会教育目標について

資料3について各課より説明

(生涯学習課)

- ・社会教育目標については、後日、定例教育委員会において審議、決定される予定です。
- ・「誰もが学び、つながり、つくりだす稲沢」を基本指針として、各施策の推進に務めてまいります。
- ・「稲沢市DX推進計画(案)」に基づき、デジタル格差対策に向けた新たな学び方を検討します。

(スポーツ課)

- ・多くの市民の方がスポーツ活動に取り組んでいただけるよう、生涯スポーツの振興を図るとともに施設の改修等、環境づくりに努めてまいります。
- ・スポーツ振興基金の運営について、豊田合成との協定を軸にトップアスリートとの交流事業に取り組みます。

(図書館)

- ・市民に情報発信の拠点として利用していただけるよう図書館サービスの充実に努め、地域に開かれ市民に親しまれる図書館づくりを目指します。
- ・利用者ニーズや各館の特性を考慮しながら資料の充実に努めます。
- ・電子図書館の導入について、令和4年7月の開設を目指し準備を進めます。

(美術館)

- ・荻須作品の毎年の購入は困難なため、寄贈、寄託というかたちで所蔵品の充実に努め、作品の調査、研究を行ってまいります。
- ・令和4年は、特別展として「藤島武二 スケッチ百花 -大川美術館コレクションと名品の彩り-」を開催します。

※質疑応答

(委員長)

- ・昨年と違う点、力を入れている点はどこですか。

(生涯学習課長)

- ・コロナ禍で情報社会が大きく変化した中、新たな情報計画としての「稲沢市DX推進計画(案)」に基づき、スマホを使用した講座等を行っていく予定です。また、文化財の関係では、地権者について相続人のいない場合、詳しい弁護士に相談するよう進めてまいります。

(委員長)

- ・方策の項目についてこれで良いのでしょうか。もっと他にもあるのではないのでしょうか。

(生涯学習課長)

- ・生涯学習課に生涯学習グループ、文化財グループの大きく2つのグループがあるところから、このような項目立てとなっております。

(委員長)

- ・課の事業の記述で終わってしまうのではなく、稲沢市全体の社会教育はどうあるべきなのか我々委員は検討していかなければならないので、そこを考えていただきたい。

(生涯学習課長)

- ・社会教育目標はまず教育委員会に出すものとなっているため、このように各課ごととなっております。本来、社会教育は学校教育を除いた全般なものとの把握はしております。

(委員長)

- ・社会教育と生涯学習事業は分けて考えなければならないと思います。

(副委員長)

- ・学校運営協議会や地域協働本部について、学校現場では何も情報がなく困っております。議会で地域コーディネーター配置の必要性等の発言もあるようですが、現状と今後の在り方をどうしていくのかお示しいただけないでしょうか。

(生涯学習課長)

- ・この後の生涯学習推進会議の方でお願いをいたします。

3 その他

- ・特になし

※荻須教育部長より協議事項の慎重審議に対するお礼のあいさつ

<午後3時40分閉会>